

- 基本理念 住み慣れた地域で、豊かに健やかに暮らせる長寿社会をめざして
- 重点課題 地域包括ケアシステムの推進

| 基本目標 | 施策 | 目的 |
|----------------------------------|-------------------|---|
| I 地域で互いに支え合い、誰もが暮らしやすい地域共生のまちづくり | 高齢者が活躍できる場づくり | ○高齢者が、生きがいをもっていきいきと暮らしていけるように、さまざまな活動に参加できる機会を充実させるとともに、地域づくりの担い手としても活躍できるように支援します。 |
| | 在宅生活支援の促進 | ○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるため、身近な相談窓口を充実させるとともに、地域住民の協力のもと、地域の実情に応じた見守り・支え合い活動や、生活支援・介護予防支援を充実させます。 |
| II いつまでも、自立した、生きがいのある生活の支援 | 介護予防の充実 | ○高齢者が健やかに自分らしく暮らせることを目指して、フレイル対策をはじめとする介護予防の啓発と、介護予防に取り組める場の拡充、自立支援・重度化防止の取り組みを進めます。 |
| | 認知症の共生と予防 | ○認知症があっても、高齢者が尊厳を保ちながら希望を持って自分らしく生活を送ることができ、家族も安心して社会生活を営むことができるよう、関係機関や地域住民等を含めた総合的な対策を進めます。 |
| | 権利擁護の充実 | ○認知症等により判断能力が低下しても、高齢者本人の意思や希望が適切に反映され、個々の特性に応じた意思決定能力への配慮を踏まえた権利擁護の取り組みを推進します。 |
| | 高齢者のニーズに適した住まいの確保 | ○高齢者が、住み慣れた地域において、高齢者の状態にあった住まいを安定的に確保でき、必要なニーズに対応したサービスを利用できる環境づくりを進めます。 |
| | 医療と介護の連携推進 | ○医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、在宅医療と介護を一体的に提供する切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指し、医療機関と介護事業所の関係者の連携を推進します。 |
| III 必要な介護サービス提供の確保・充実 | 介護サービスの充実と給付の適正化 | ○介護が必要になったときには、安心して必要なサービスが利用できるよう、サービスの質の確保・向上と、給付の適正化に取り組みます。 |